



⑤リサイクルについて考えよう

【ごみと資源ごみ】

●家庭から出るごみにはどのようなものがあるか。ごみについて知っていることを発表しよう。

●サポーターさんの説明を聞いて、の中に書きましょう。

令和5年度県内の家庭から出されたごみの量は、1年間で65.7万トン。これは、県民1人が毎日933gのごみを出していることとなります。その中でも家庭からの燃えるごみはgです。また、処理施設を建設するお金をのぞいて、このごみを燃やしたり、埋めたりする処理のために使われたお金は、一人あたり 約円となります。



実験1【家族4人が1日に出すごみを調べよう】

○家族4人分の、燃えるごみの日に出されていたごみを品目ごとに分けよう（分別）

ごみの品目	生ごみ	紙ごみ	プラごみ・ペットごみ	草木ごみ	服などのごみ	その他
ごみの番号						

【ごみの名前】

- ①レジぶくろ ②ふく ③生ごみ ④あきかん ⑤まんが本 ⑥ペットボトル



- ⑦コーヒーのあきかん ⑧木のえだ ⑨ダンボール ⑩プラようき



○ごみをへらすキーワード

- リデュース：ごみを出さないようにする（無駄なごみの量をできるだけ少なくすること）
- リユース：くりかえして使う（一度使ったものをごみにしないで、何度も使うこと）
- リサイクル：もう一度、資源として使う（使い終わったものをもう一度資源にもどして製品を作ること）

◎ リフューズ：不要なものを受け取らない（ごみになるものは買ったりもらったりしないこと）

◎ リスペクト：ものに対して敬意をあらわす（長く使える物を選んだりこわれたときは修理したりして使うこと）

実験2【ペットボトルから糸をつくってみよう】

- ペットボトルを 1 cm×1.5 cm くらい大きさに切ります。
- バットにのせたガスバーナーに、火をつけます。
- 切ったペットボトルの両はじを持って、真ん中に炎を当ててときます。
- とけたら、引き延ばしてみましょう。(木製クリップを使用)



【資源ごみとリサイクル製品】

● どんなものに再利用できるんだろう？



回収された資源ごみは、このように再利用されています。

【リサイクルマークはどこに付いている？】



【グリーンコンシューマーって知っている？】

買い物をするとき環境のことを考えて「商品やお店」を選ぶ人のこと。

《たとえば》

- ① 必要なものを必要なだけ買う。
- ② 包装してないものや、リサイクルされた製品を選ぶ。
- ③ 使い捨て商品はさげ、長く使えるものを選ぶ。など。

※ 今、家庭から出るごみで処分場は大変！ 3R(5R)を心がけ、グリーンコンシューマーになろう。

【今日から出来ることを書いてみよう】

-
-
-